

電力・ガス取引監視等委員会 第53回制度設計専門会合

2020年12月15日

『発電側基本料金の見直し』への期待と要望

一般社団法人バイオマス発電事業者協会

設立：2016年11月22日（2020年12月現在：会員数116）

目的：バイオマス発電事業の促進とバイオマス産業の健全な発展を図り、持続可能な循環型社会の構築と地球環境保全の推進に寄与すること

会 員



- 期待について
- 要望事項
 - <1> 発電側基本料金による費用負担の考え方について
 - <2> 小売を通じた調整措置について

- 本制度は今後の設備増強の迅速化および効率化のための制度であるとの理解しており、今後も継続する再生可能エネルギーの拡大につながる制度となるよう期待する。
なお、制度については電源間および事業種ごとの公平性が保たれた設計となることを期待している。

<1> 発電側基本料金による費用負担の考え方について

発電側基本料金による費用負担については、電源の稼働率を高めることによってインセンティブが得られる仕組みとなる『**kW課金**』の考え方が**適当**であるとする。

<2> 小売を通じた調整措置について

発電側課金の前提として、

FIT電源は発電側基本料金分による負担増を需要側に求めることができないため、**小売側からの調整措置**を確実に実施頂きたい。

また、FIT電源では送配電事業者に売電しているケースが多くあり、小売事業者が直接の売電当事者でないため、**小売側からの調整措置が受けられるか懸念がある**。

従って、**送配電事業者への売電の場合も調整措置**が受けられるように調整措置（ガイドライン）の設計を頂きたい。